

# 第二次県立病院改革プランの平成26年度取組状況（概要版）

【基本目標】 『地域に必要とされる質の高い医療の提供』と『病院経営の健全化』

【基本方針】 ①良質な医療サービスの提供 ②収益確保と費用削減による健全な病院経営 ③医療提供体制の充実強化 ④職員の資質向上と人材育成 ⑤地域との連携・共生

【計画期間】 平成26～28年度

## I 県立病院の在り方（政策医療の実施状況）

### 民間病院では処遇困難な患者の受入れ等の精神医療の提供

#### 矢吹病院(206床)



##### 措置入院・処遇困難患者の受入

➢保護室の回転率を高めるなど、処遇困難例を積極的に受け入れた

	H24	H25	H26
措置入院	10人	10人	2人
処遇困難	12人	22人	19人

##### 児童思春期外来の実施

➢児童思春期外来を平成23年8月に開設し、児童・思春期の専門的な診療に取り組んでいる  
➢新患の予約は5～6か月待ちとなっているため、診療体制の充実等を図るなど、待機期間の短縮に努める

	H24	H25	H26
児童思春期外来	426人	576人	722人

##### 訪問看護・デイケアの充実

➢医療相談室や訪問看護室を中心に地域移行・地域定着の支援を行った

	H24	H25	H26
訪問看護	7.3人/日	7.2人/日	8.8人/日
デイケア	17.6人/日	15.1人/日	12.3人/日

##### アウトリーチ(多職種による在宅診療)による支援の試行的実施

➢アウトリーチのプロジェクトチームを設置(H26)  
➢院内勉強会やこころのケアセンターなごみにおける実施研修を実施し、27年3月に試行的支援を開始

評価

4

### 中山間地域における医療提供（地域住民が安心して暮らすことができる基盤）

#### 宮下病院(32床)



##### 国保診療所等への診療応援

➢へき地医療拠点病院として医師派遣による地域医療の確保に取り組んだ

	H24	H25	H26
国保診療所	236回	90回	197回
特養老人ホーム	50回	65回	74回

##### 訪問診療・訪問看護の充実

➢地域住民が安心して在宅療養していただけるよう訪問診療・訪問看護に取り組んだ

	H24	H25	H26
訪問診療	121件	84件	77件
訪問看護	10件	44件	12件

##### 研修・教育機能の展開

➢臨床研修医や学生への研修・教育を行い、地域医療への理解と動機付けの機会とした

	H24	H25	H26
初期研修医	1人	1人	3人
地域医療体験研修	5人	10人	11人

##### 地域住民の健康増進への支援

➢出前講座や院内健康教室などを通じて、予防医学の啓発を行い、地域住民の健康増進を支援した

	H24	H25	H26
出前講座	29回・541人	21回・417人	21回・465人
院内健康教室	13回・99人	22回・148人	12回・93人

評価

4

#### 南会津病院(98床)



##### 国保診療所への診療応援

➢平成26年度は、従来の医師派遣に加え、只見町朝日診療所の医師1名欠員に対する応援も実施

	H24	H25	H26
国保診療所	22回	23回	210回

##### 救急医療への対応

➢第二次救急医療機関(救急告示病院)として、断らない救急を念頭に24時間365日体制で救急医療を実施

	H24	H25	H26
時間外患者	4,573人	4,482人	4,640人
救急車受入	825回	789回	764回

##### 研修・教育機能の展開

➢臨床研修病院として、臨床研修医への研修・教育及び、地域医療に関心を持つ医学生等の受け入れを行った

	H24	H25	H26
卒後臨床研修	0人	1人	2人
地域医療実習	3人	2人	3人

##### 地域住民の健康増進への支援

➢小児科医による医療相談会を郡内5会場で開催し、100名以上が参加した  
➢医療講演会を開催し、地域住民の健康増進を支援した

	H24	H25	H26
医療講演会	9回	13回	16回

評価

4

### 震災からの復興・再生

#### 大野病院(休止中)



##### 附属診療所の整備

H28年2月開所予定

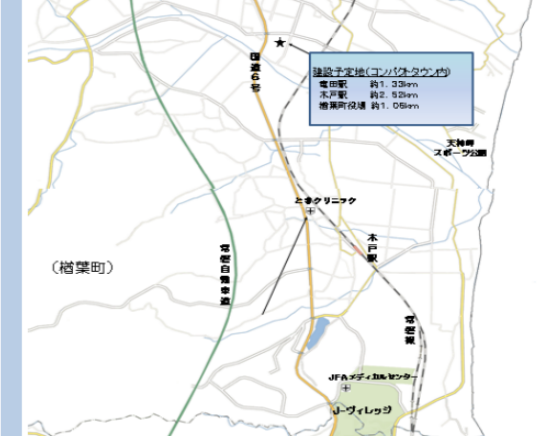
<診療科目> 調整中

➢内科 週5日  
➢整形外科 週3日

##### <施設機能>

診察室4室 / 感染予防室兼救急室  
X線室 / CT室 / 内視鏡室 / 調剤室 / 事務部

##### <建設予定地>



##### <イメージ図>



評価

-

## II 行動計画に掲げる11の数値目標の達成状況

基本方針	評価項目	平成26年度				平成25年度			
		目標値	実績値	定量評価	定性評価	目標値	実績値	定量評価	定性評価
1 良質な医療サービスの提供(詳細:参考1)									
医療の質の向上	-			-	4			-	5
患者サービスの向上	患者満足度	75%以上	77.0%	5	4	85%以上	76.0%	4	4
2 健全な病院経営(詳細:参考2)									
収益の確保	経常収支比率	107%以上	110.9%	5	4	100%以上	98.4%	4	5
未収金の発生防止等	過年度未収金残高	65百万以下	57百万	5	4	72百万以下	69百万	5	5
費用の見直し	職員給与比率	125%以下	129.9%	4	3	83%以下	93.6%	3	4
3 医療体制の充実強化									
診療体制・経営基盤の強化	常勤医師数	22人以上	22人	5	4	23人以上	21人	4	4
医療安全対策の強化	医療安全研修参加率	85%以上	78.8%	4	3	90%以上	81.6%	4	4
4 職員の資質向上と人材育成									
人材の育成と確保	資格取得者支援者数	9人以上	13人	5	4	10人以上	11人	5	5
職員の意識改革	職員提案件数	35件以上	28件	3	3	40件以上	42件	5	4
5 地域との連携・共生									
地域医療機関等との連携	紹介率	14%以上	14.1%	4	4	16%以上	13.8%	3	4
	逆紹介率	14%以上	28.9%			-	-		
	病床利用率	63%以上	60.2%			73%以上	58.0%		
県民への情報提供	-			-	3			-	4

### 自己評価基準

目標値達成状況の自己評価(定量評価)		取組状況の自己評価(定性評価)	
[5]	目標値を上回った。達成度100%以上	[5]	極めて積極的に行われている。
[4]	目標値を達成できた。達成度90%以上	[4]	積極的に行われている。
[3]	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上	[3]	取り組んでいる。
[2]	目標値を下回った。達成度50%以上	[2]	消極的である。
[1]	目標値を大きく下回った。達成度50%未満	[1]	実施に至っていない。

## III 収支計画の達成状況

### 収支計画の目標

一般会計繰入金のうち「政策医療に係る経費」を平成24年度比で90%以下 (H24:12億円→H28:10.6億円) に縮減する

### <政策医療に係る経費>

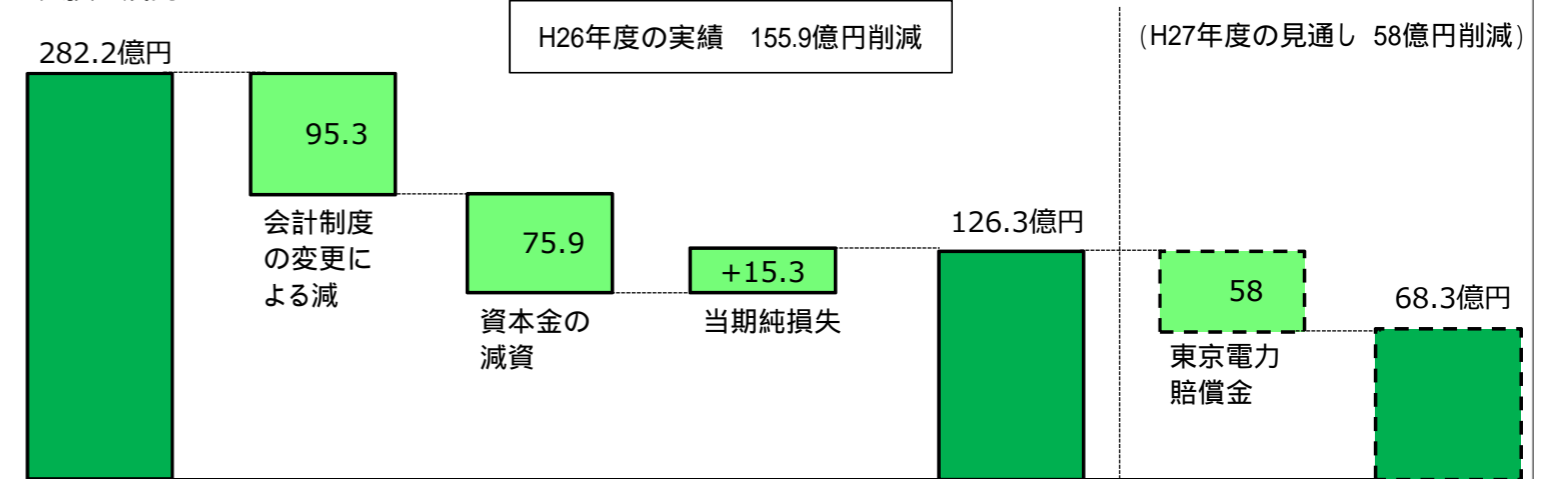
(単位:百万円)

年 度	24	25	26	27	28
目 標 額	1,209	1,253	1,082	1,068	1,068
決 算 額	1,205	1,178	1,214		

### 累積欠損金の処理に係る対応方針

収益確保や資本剰余金の取り崩し、資本金の額の減少による処理の検討等、様々な手段を講じ、計画的な削減に努める

### <欠損金残高>



### 県立病院事業の決算額

(単位:百万円)

年 度	24	25	26
総 収 益	11,749	6,780	6,841
総 費 用	12,722	7,436	8,379
純 損 益	▲ 973	▲ 656	▲ 1,538